

株式会社ファイバーゲート

2020年6月期第1四半期 決算説明資料



上場市場 : 東証第一部 札証
証券コード : 9450

2020年6月期1Q決算実績

2020年6月期決算見通し

中長期ビジョン : Alternative Carrier 構想

トピックス

Appendix

1

2020/6期1Q実績：増収増益基調継続

- ✓ レジデンスWi-Fiなどストック型ビジネスは好調持続
- ✓ 前年同期比34%増収、28%経常増益

2

2020/6期見通し：従来想定を据置き

- ✓ 1Q時点の進捗は順調も、保守的なスタンスを継続

3

中長期ビジョン：Alternative Carrier 構想

- ✓ P2Pに特化し、利用者に安心できるサービスを提供
- ✓ 既存キャリアとは共存共栄の関係を構築



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

2020年6月期1Q決算実績

- 高い成長ピッチに変化なし。前年同期比34%増収、28%経常増益を達成
- 事業別にはレジデンスWi-Fi事業43%増収、フリーWi-Fi事業7%増収
- 通期見通しの進捗率は経常利益で36%と順調ながら、フリーWi-Fiはややスロースタート

(百万円)	2019/6期 1Q実績	2020/6期 1Q実績	前年同期比		2020/6期通期	
			増減額	増減率	見通し	1Q進捗率
売上高	1,293	1,730	+436	+33.7%	6,910	25.0%
レジデンスWi-Fi事業	956	1,368	+411	+43.0%	5,040	27.1%
フリーWi-Fi事業	337	362	+25	+7.5%	1,870	19.3%
営業利益	304	389	+84	+27.8%	1,070	36.3%
レジデンスWi-Fi事業	336	441	+104	+31.2%	1,290	34.2%
フリーWi-Fi事業	104	111	+7	+7.1%	680	16.4%
調整	▲136	▲163	▲27	▲20.3%	▲900	18.1%
経常利益	298	381	+83	+27.9%	1,060	36.0%
当期純利益	189	245	+55	+29.5%	670	36.6%

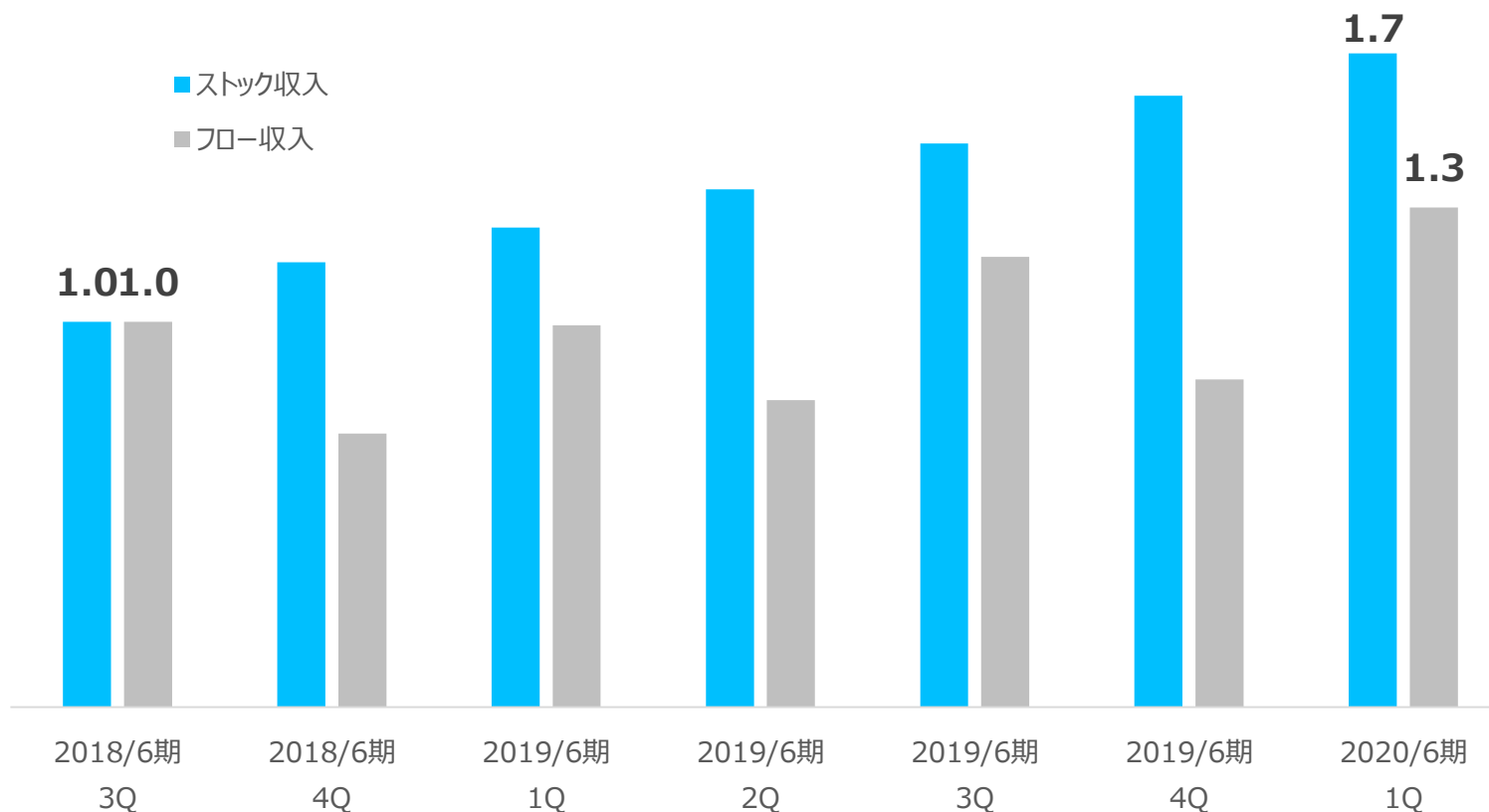
*百万円未満、0.1%未満切り捨て

- 2020/6期1Qは四半期ベースで売上・経常利益ともに過去最高を更新
- 特にレジデンスWi-Fiが伸長を牽引。一方、フリーWi-Fi拡大ピッチはまだ加速には至らず
- 前4Qとの比較でも増収増益。需要拡大に加え、季節的な不需要期の反動も影響

(百万円)	2018/6期 4Q	2019/6期 1Q	2019/6期 2Q	2019/6期 3Q	2019/6期 4Q	2020/6期 1Q	前四半期 比較
売上高	1,073	1,293	1,230	1,523	1,398	1,730	+332
レジデンスWi-Fi事業	782	956	896	1,117	1,103	1,368	+265
フリーWi-Fi事業	290	337	334	406	295	362	+67
営業利益	52	304	192	345	94	389	+295
レジデンスWi-Fi事業	168	336	227	361	271	441	+169
フリーWi-Fi事業	58	104	101	137	28	111	+82
調整	▲174	▲136	▲136	▲153	▲205	▲163	+42
経常利益	42	298	186	336	65	381	+316
当期純利益	20	189	118	215	28	245	+217

*百万円未満、0.1%未満切り捨て

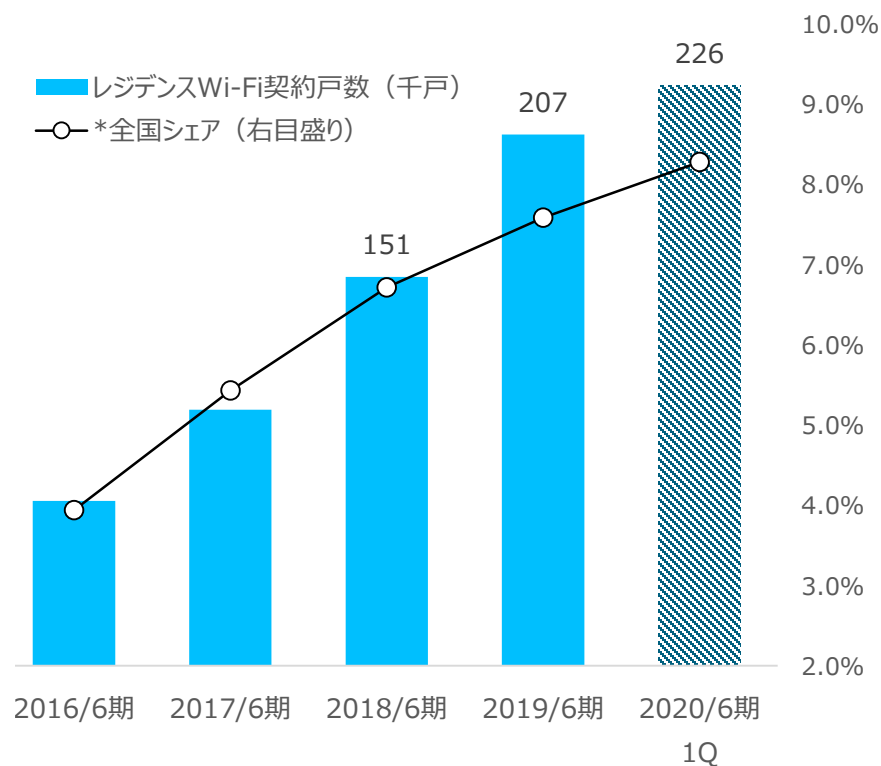
- ストック収入は6 四半期連続で増加。2018/6期3Qを基準とすれば、1.7倍にまで増加
- 一方、フロー収入は季節性による変動はあるものの、概して一定規模を維持
- フロー収入はストック収入への入口。フロービジネスの着実なストック転換の進捗を確認



注) 2018/6期3Q=1 として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記にもかかわらず、見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある

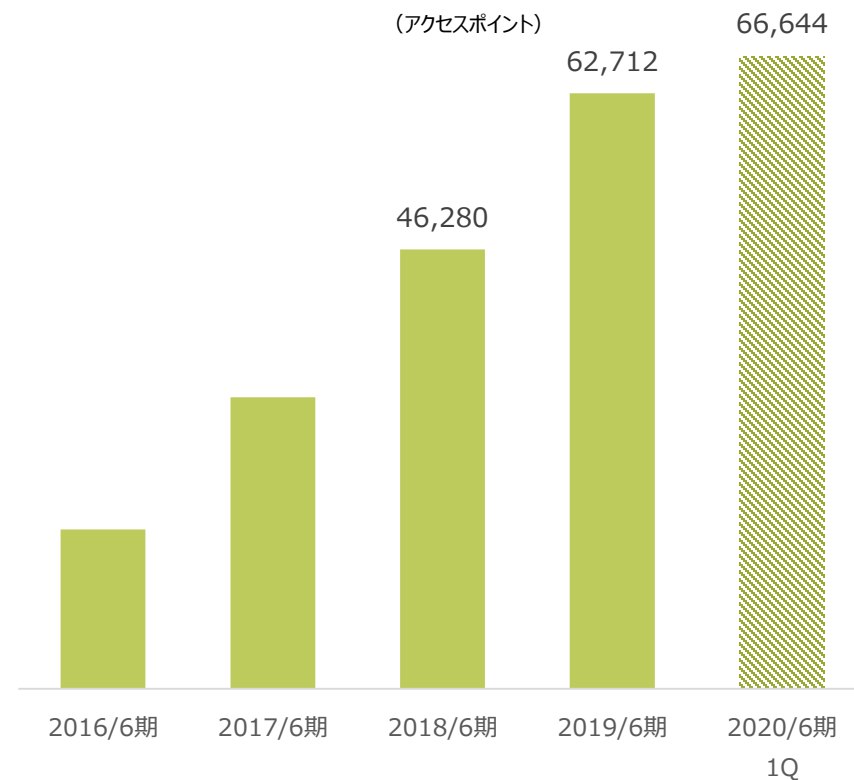
- レジデンスWi-Fi契約戸数は1Q末で22.6万戸まで拡大。全国シェアも8%程度に上昇
- フリーWi-Fiのアクセスポイントも、社会的ニーズ広がり、拡大ペースに変化なく拡大

レジデンスWi-Fi契約戸数と全国シェアの推移



*全国シェアはMM総研発表による全戸一括型マンションISPの提供戸数総数（各3月末現在）を当社会計年度末（もしくは直近四半期末）の契約戸数実績で除して算出

フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) 推移



(注) 当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

連結決算概要(貸借対照表)

- 自己資本比率は39.8%まで上昇。財務安定性はさらに向上
- 固定資産増は顧客拡大に伴う先行投資に起因。キャッシュアウト先行構造に変化なし

(百万円)	2018/6期	2019/6期	2020/6期 1Q	2019/6期 末比増減
流動資産	2,202	2,351	2,364	+13
現預金	1,118	1,058	855	▲203
売掛金	918	993	1,162	+169
棚卸資産	138	269	309	+40
固定資産	2,154	2,955	3,270	+314
有形固定資産	2,020	2,806	3,134	+327
総資産	4,364	5,311	5,639	+327
負債	2,984	3,330	3,396	+66
有利子負債	2,422	2,378	2,488	+109
その他	562	951	908	▲43
純資産	1,380	1,981	2,242	+261
負債純資産合計	4,364	5,311	5,639	+327

顧客増に伴う
先行投資負担継続

売上増に伴って増加

顧客増に伴い設備関連
先行投資が拡大

有利子負債は若干増
先行するキャッシュアウトに
対応

自己資本比率39.8%
前期末の37.3%より上昇

*百万円未満、0.1%未満切り捨て



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

2020年6月期決算見通し

- 売上高・経常利益ともに従来見通しを据置き。進捗順調だが、保守的なスタンスを継続
- 契約戸数やアクセスポイントは30～40%増を想定。同時に内部管理強化も推進

(百万円。百万円未満切り捨て)	2018/6期	2019/6期	2020/6期 見通し	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	3,977	5,446	6,910	+1,463	+26.8%
レジデンスWi-Fi事業	2,862	4,073	5,040	+966	+23.7%
フリーWi-Fi事業	1,115	1,373	1,870	+496	+36.1%
営業利益	560	936	1,070	+133	+14.3%
レジデンスWi-Fi事業	818	1,197	1,290	+92	+7.7%
フリーWi-Fi事業	272	371	680	+308	+83.0%
調整	▲530	▲632	▲900	▲267	▲42.2%
経常利益	510	886	1,060	+173	+19.5%
当期純利益	312	550	670	+119	+21.6%
* <前提>					
レジデンスWi-Fi契約戸数 (千戸)	151.5	207.0	276.0	+69.0	+33.3%
フリーWi-Fiアクセスポイント数 (千AP)	46.2	62.7	88.0	+25.3	+40.3%

- 増収効果が利益拡大の牽引車となる構図に変化なし
- 一方、ガバナンスの強化向上などの推進により、固定費の上昇を想定

経常利益増減 要因分析

2019/6期実績

8.8億円



2020/6期見通し

10.6億円

+1.8億円

① 増収効果	+5.0億円
② 固定費上昇	▲2.5億円
③ 粗利率変動	▲0.7億円


<基盤整備投資>

- ✓ 通信技術関連投資
エンジニア採用、システム投資他
- ✓ ガバナンス強化
基幹システム強化、管理部門強化
- ✓ 営業力強化
営業人員増員


- 速い業績拡大ピッチに対応すべく、事業基盤の強化・整備は喫緊の課題に急浮上
- 2020/6期は、より長期的な成長を実現すべく、体制強化への投資に着手
- 1Q時点での進捗状況はまだ端緒に着いたばかり。今後は進捗加速を急ぐ

<主な基盤整備投資>


✓ 通信技術関連投資

 エンジニア採用は積極的に推進するも、1Q末時点での実績はまだ
システム投資は設計開発段階で進捗中
IPv4 over IPv6システムの強化にも着手

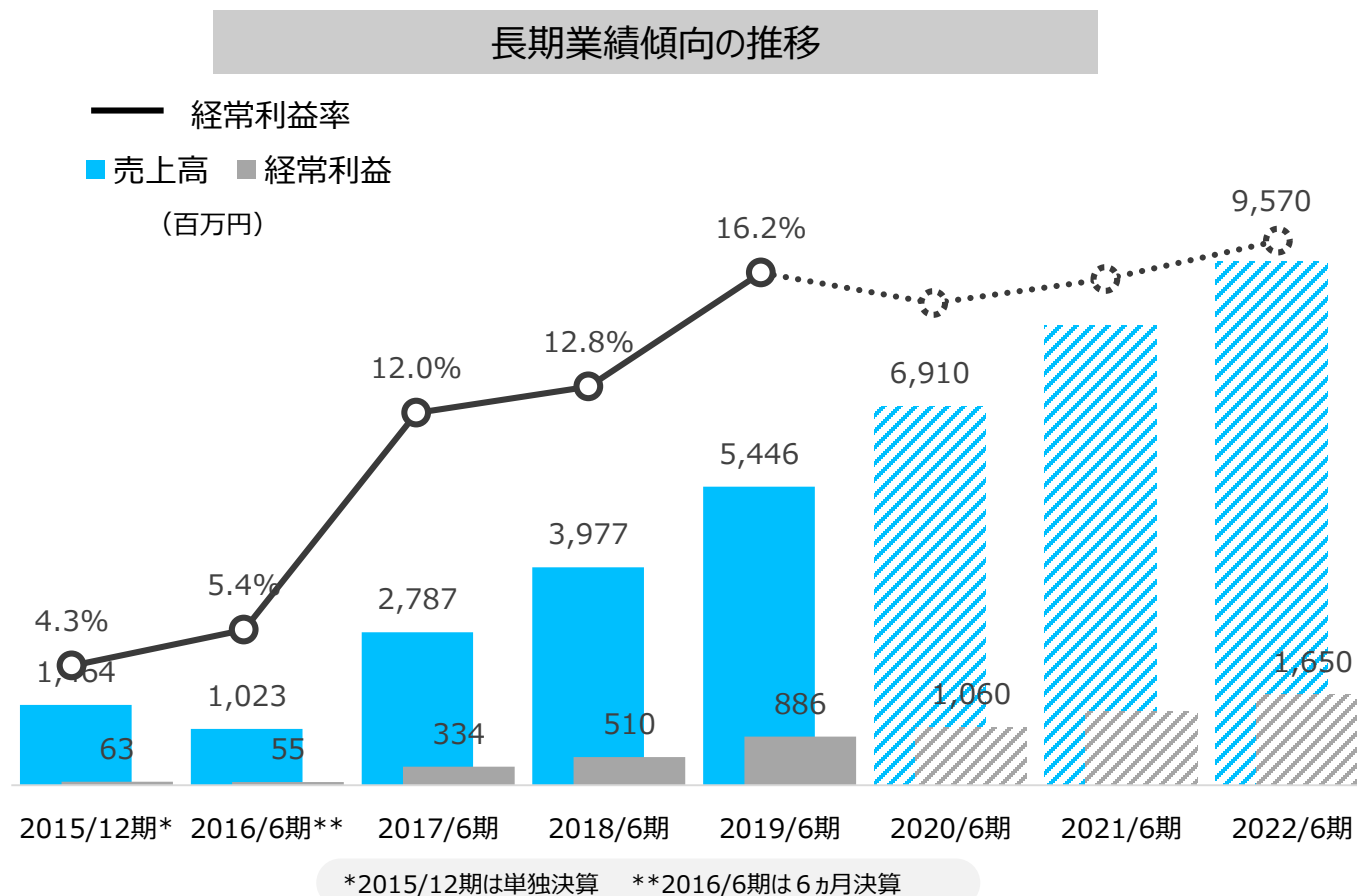
✓ ガバナンス強化

 基幹システムの強化に向け、プラットフォーム本部を1Qより新設
非常勤役員を常勤化し、管理部門を掌握強化
基幹システムの刷新に着手

✓ 営業力強化

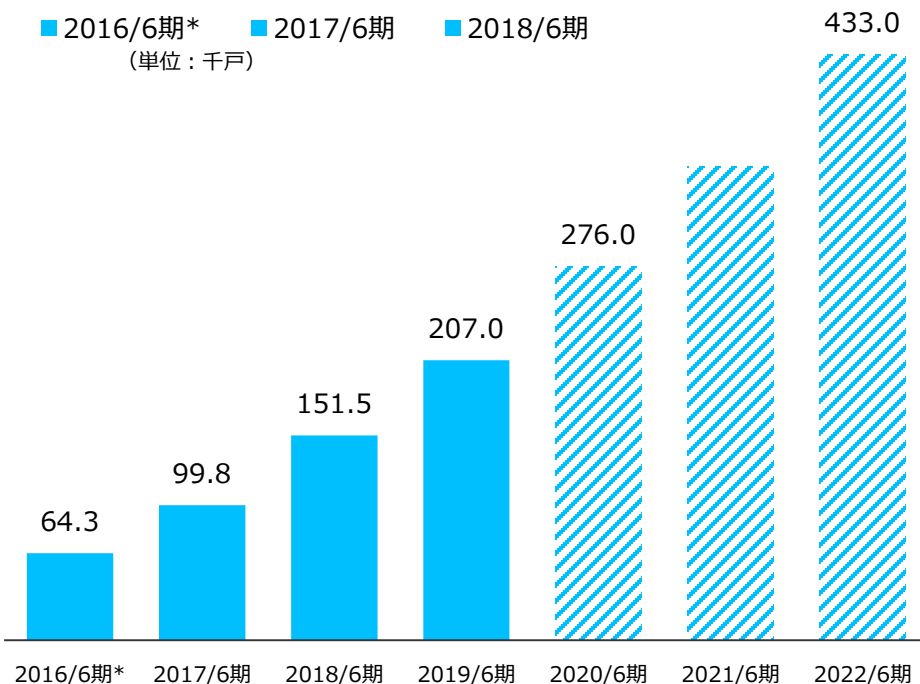
 10月より北海道営業部を新設。営業強化に向けて更なる体制刷新を予定
営業人員の増員は計画通りに進捗

- 2022/6期に向けて一段の業績拡大を実現し、高収益体質の確立も急ぐ
- フロービジネスを入口にストックビジネスの積上げを目指し、経営の安定化と成長を追う
- 通信市場は5Gの進展で拡大加速へ。Wi-Fiも第6世代へのシフトが今後は進行



- レジデンスWi-Fiの累積契約戸数はやや想定を上回るペースで順調に拡大
- フリーWi-Fiのアクセスポイントも今後の拡大ピッチ加速進展を想定

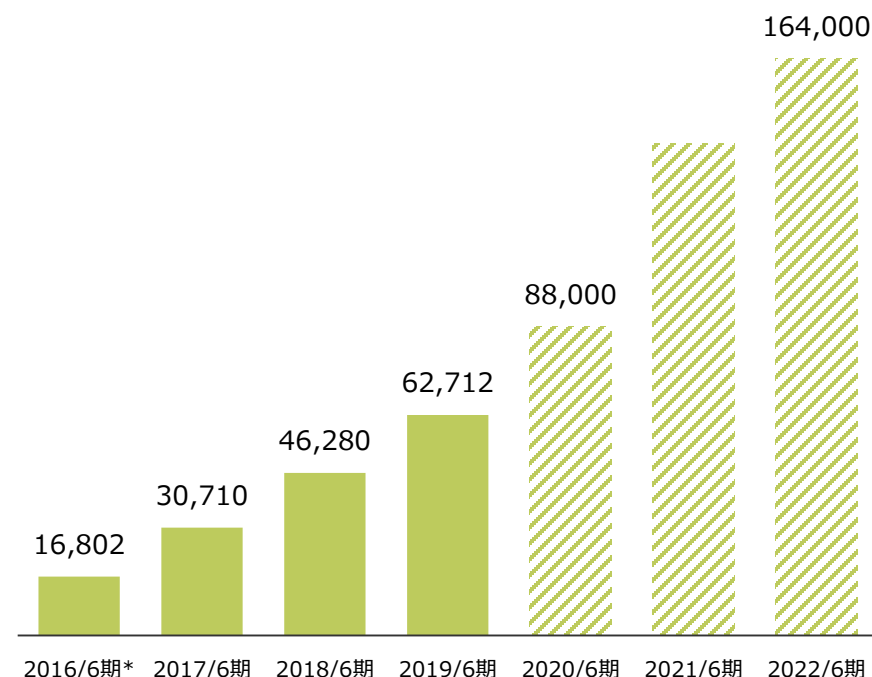
レジデンスWi-Fi契約戸数と全国シェアの推移



出所：全国シェアは、全戸一括型マンションISPシェア調査（MM総研発表）
各2015/3末、2016/3末、2017/3末、2018/3末現在

フリーWi-Fiアクセスポイント数（注）の推移

(単位：アクセスポイント)



注：当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

*2016/6期は6ヵ月決算



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

Alternative Carrier 構想

Forward to
“Alternative Carrier”

～全ての通信のゲートウェイを目指して～

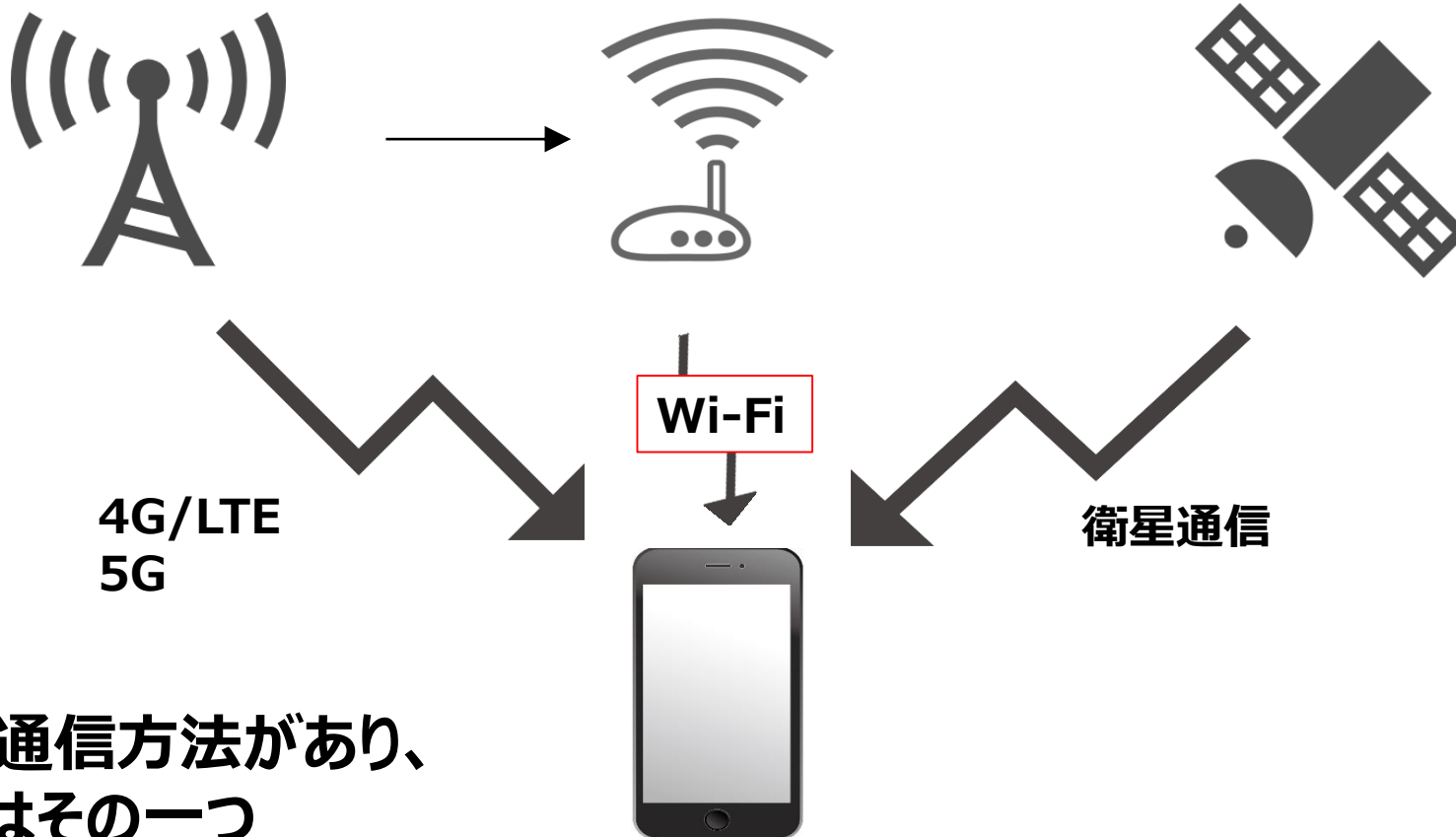
2019年9月、当社は中期的なビジョンとして、上記のスローガンを掲げることといたしました。

“Alternative Carrier” とは？



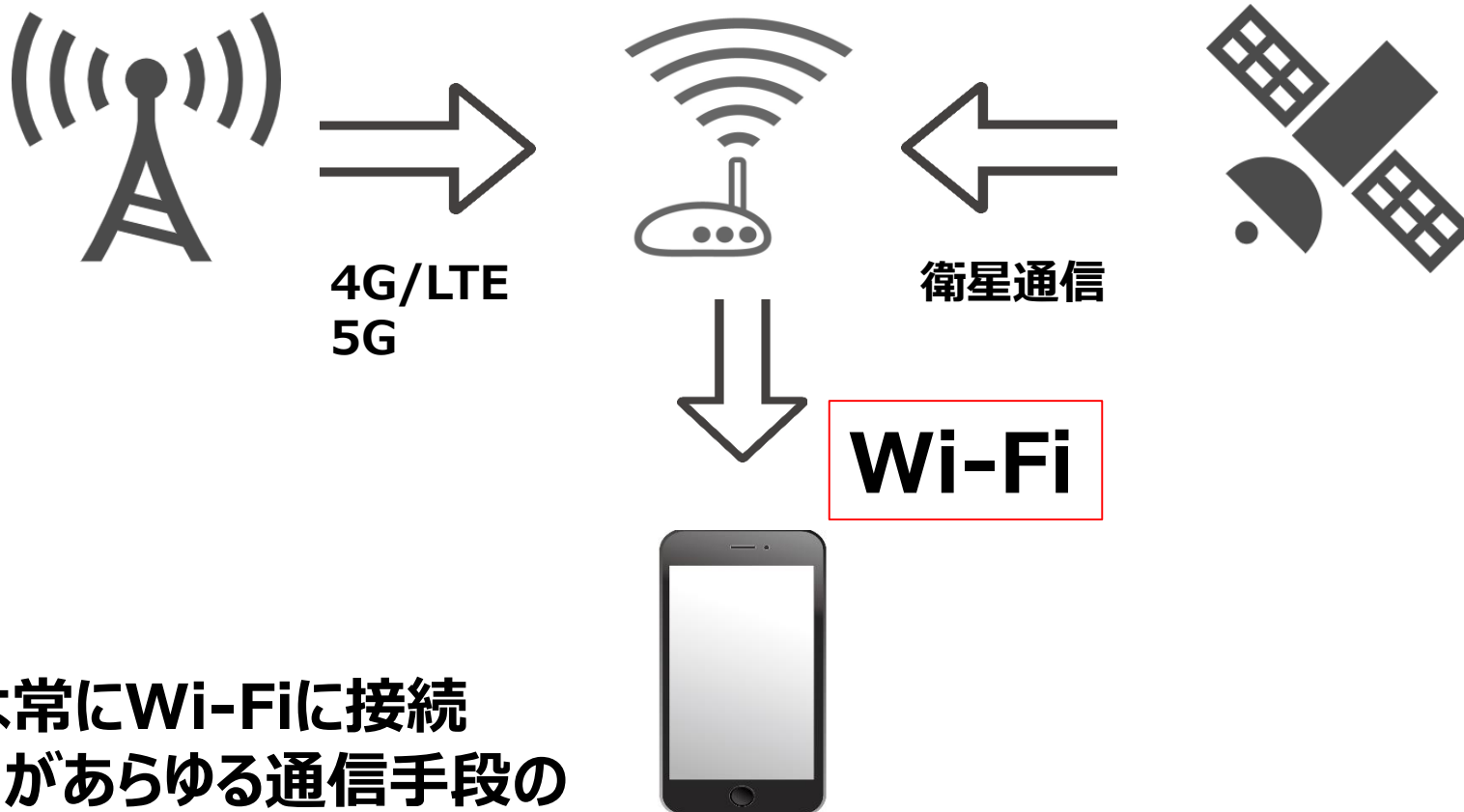
※M2Mは当社の領域外。あくまで対人におけるコミュニケーションへの貢献を主軸とする

これまでは・・・

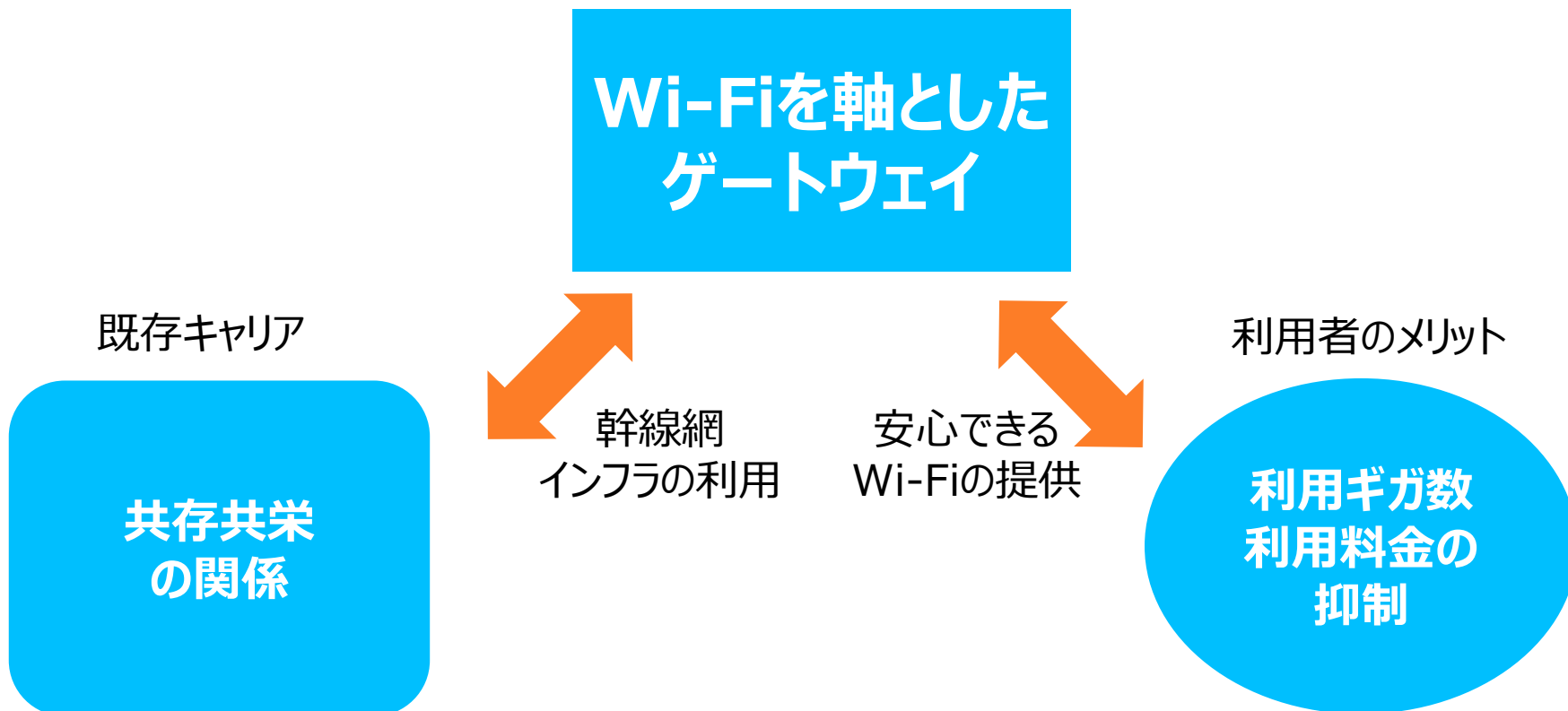


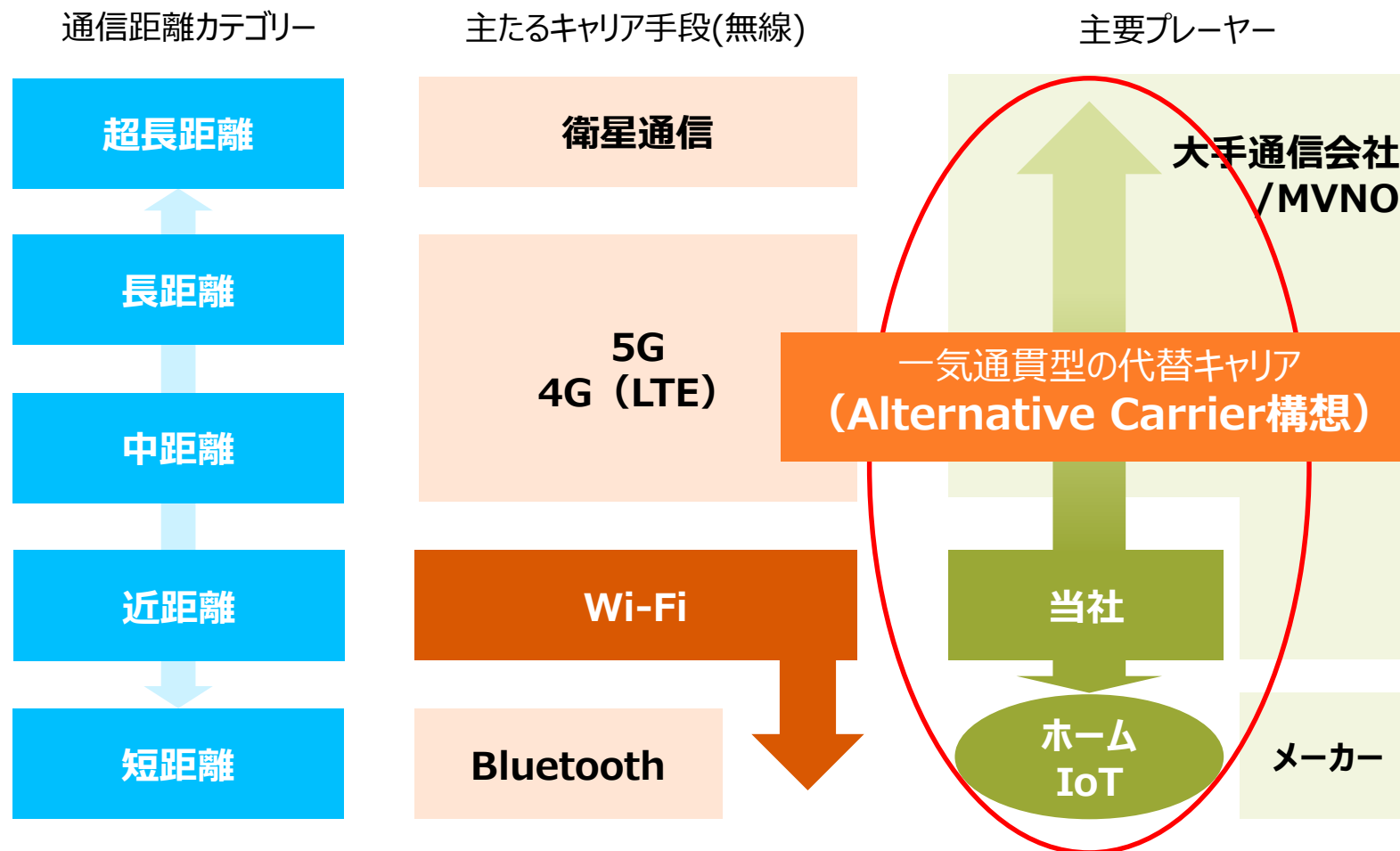
- ✓ 多様な通信方法があり、Wi-Fiはその一つ
- ✓ 料金は通信方法によって千差万別

当社は全ての通信のゲートウェイを目指す



- ✓ 端末は常にWi-Fiに接続
- ✓ Wi-Fiがあらゆる通信手段の利用者向けインターフェイスとなる







Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

トピックス

- 10月、技術面における長期戦略について機関投資家・アナリスト向けに説明会を開催
- 当社のAlternative Carrier構想実現に向けての考え方を説明
- 説明会資料は当社コーポレートサイトにて掲載



- 11月5日、ホームIoT事業「FG Home IoT」の新規展開を発表
- スマートロックデバイス“FG Lock”と居室内センサーボックス“FG Smart Sensor”を開発。2020年春より戸建て、集合住宅、オフィス向けに提供を開始予定
- 管理用WEBシステムや入居者スマホアプリからHome IoTのワンストップソリューションを実現。集合住宅オーナーには当社サポートセンターが一括対応



FG Lock



FG Smart Sensor





Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

Appendix



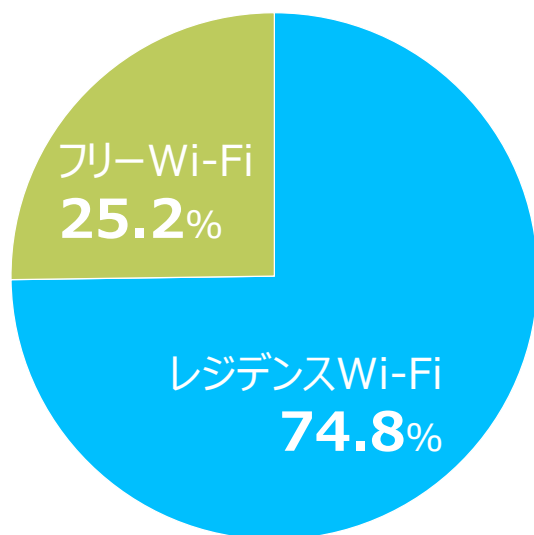
**通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、
一貫して手がける（通信系キャリア以外の）
独立系Wi-Fiソリューション企業***

***独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）
管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在13社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

- 2つの主要事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、売上構成は74.8%（2019/6期）
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳



2019/6期実績

レジデンスWi-Fi事業



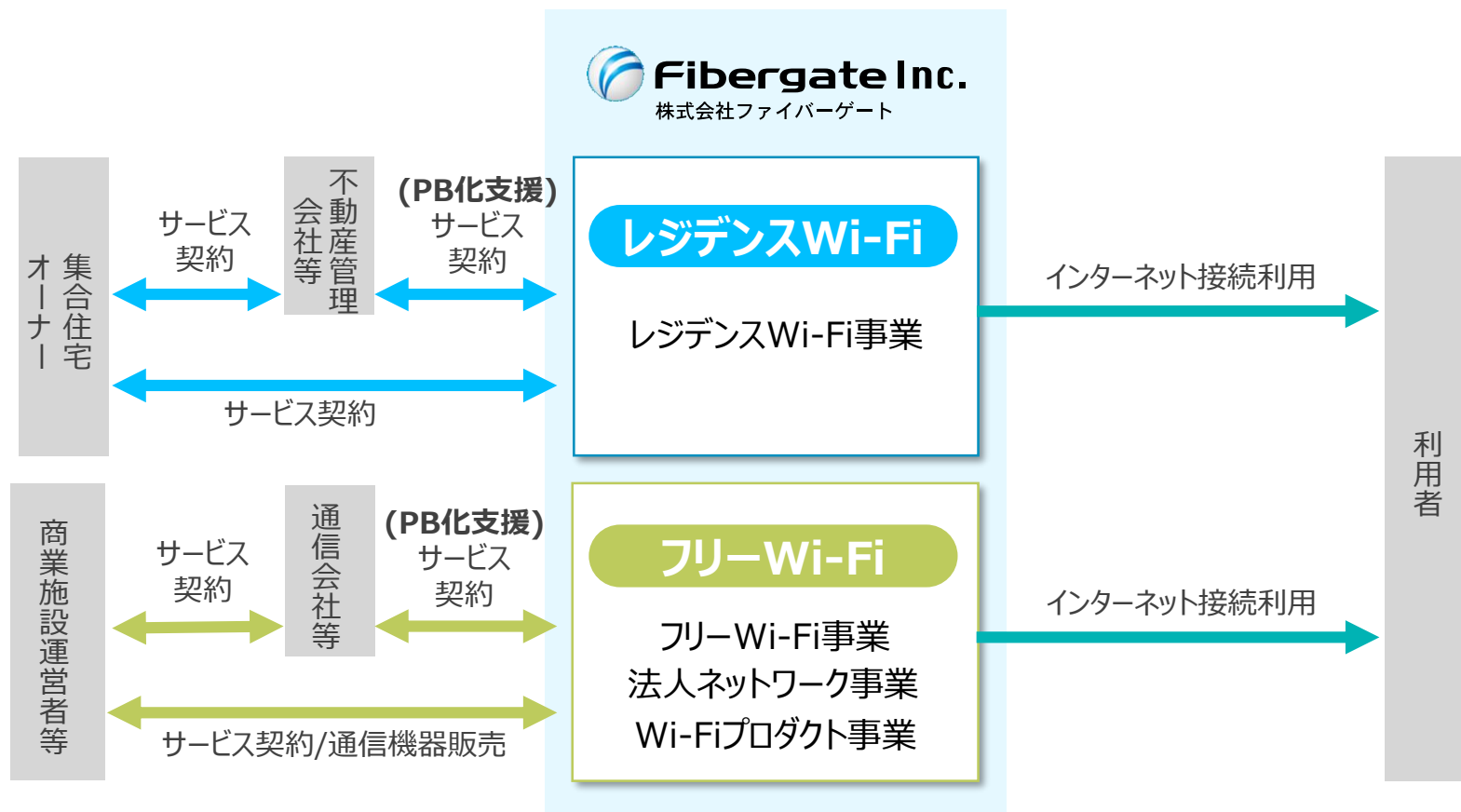
- ・マンション・アパート向け全戸一括インターネット接続サービスの提供
- ・顧客は集合住宅オーナー

フリーWi-Fi事業

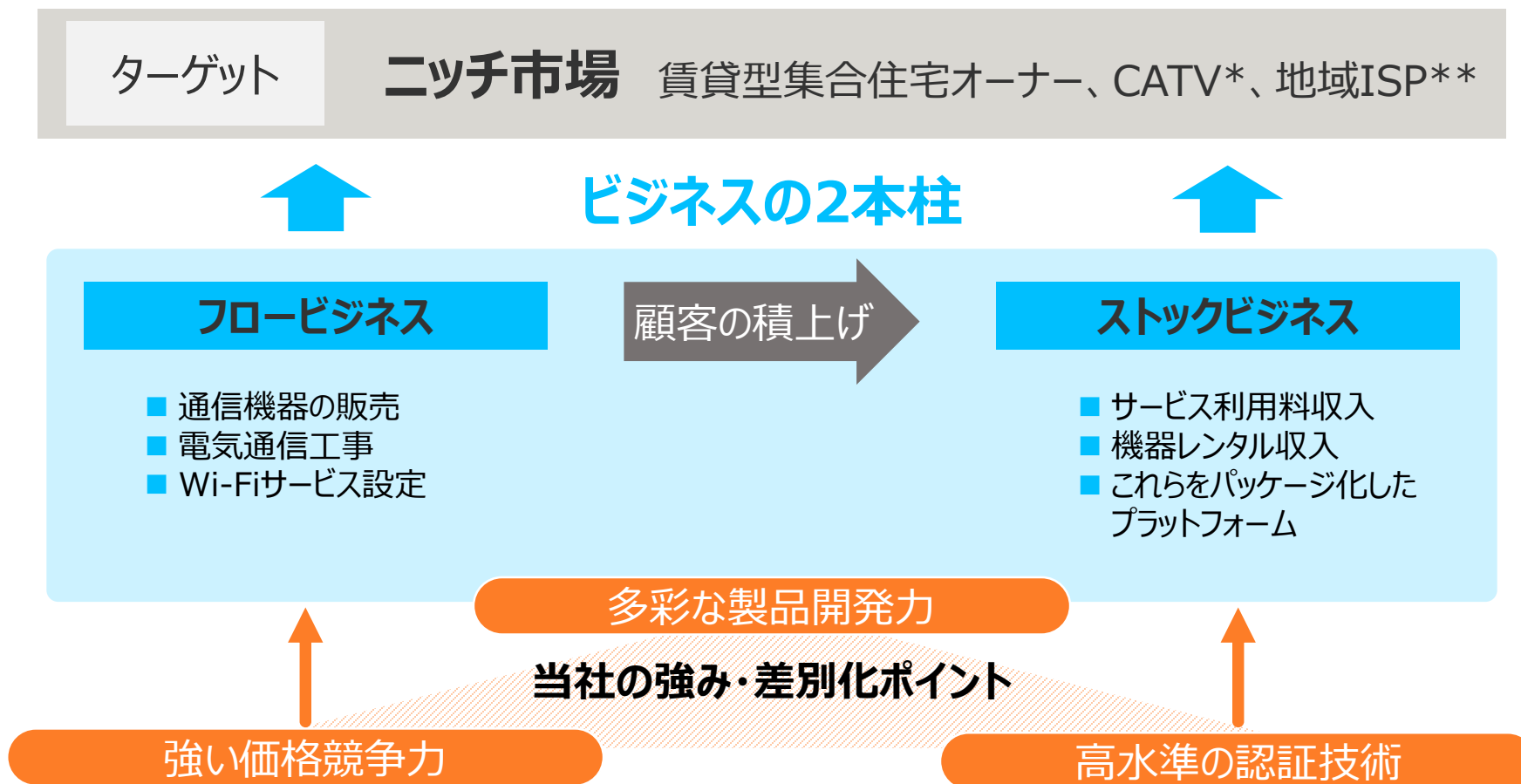


- ・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
- ・法人ネットワーク事業
(インターネットプロバイダサービスなど)
- ・Wi-Fiプロダクト事業
(通信機器の製造販売)
- ・顧客は観光自治体、商業施設などのロケーションオーナー

- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



- ニッチ市場に向けて、フローとストックの2本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



*CATV : Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業

**ISP : Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

年	内容
2000	➤ 国内、国際電話サービスの加入取次を目的に仙台市若林区に会社設立
2003	➤ 札幌市中央区に本社移転 ➤ 複数拠点企業のネットワーク構築、Webでのブロードバンド回線販売を主業とする
2004	➤ レジデンスWi-Fi事業を開始
2005	➤ Wi-Fiによるブロードバンド化サービスを開始
2006	➤ PB化支援による集合住宅向けインターネット無料サービスを開始
2008	➤ マンスリーマンション向けインターネット接続事業を開始
2009	➤ フリーWi-Fiサービス事業を開始
2010	➤ 通信商材販売を担当する子会社FGマーケティングを設立
2013	➤ Web・コンテンツデザインを担当する子会社TUMUGU Designを設立 ➤ コンピュータウェアの企画開発及びインターネット回線取次を担当する子会社NOISを設立
2014	➤ 当社開発通信機器の販売事業（Wi-Fiプロダクト事業）を開始 ➤ PB化支援による店舗・商業施設向けWi-Fiサービスを開始
2015	➤ 電気通信工事事業認可（北海道知事許可）を取得 ➤ 台湾に100%子会社・飛博網通技股份有限公司を設立 ➤ 電気通信事業法に基づく電気通信事業の登録免許を取得
2016	➤ 経営革新計画企業に認定
2018	➤ 東京証券取引所マザーズ市場に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2019	➤ 東京証券取引所第一部に上場市場変更 ➤ 札幌証券取引所に上場

決算年月 (*単独決算、** 6ヵ月決算)		2015/12期*	2016/6期**	2017/6期	2018/6期	2019/6期
売上高	(千円)	1,464,802	1,023,483	2,787,387	3,977,485	5,446,396
経常利益	(千円)	63,061	55,270	334,836	510,171	886,999
当期純利益	(千円)	16,391	27,012	209,331	312,312	550,888
資本金	(千円)	48,750	51,300	54,300	401,372	426,896
発行済株式総数	(株)	525	54,200	56,200	4,761,900	9,807,400
純資産額	(千円)	168,324	200,854	413,480	1,380,144	1,981,638
総資産額	(千円)	2,129,263	2,255,326	3,054,242	4,364,688	5,311,858
1株当たり純資産額	(円)	320,617.90	74.12	147.15	144.92	202.06
1株当たり当期純利益金額	(円)	31,221.38	10.08	75.92	81.62	57.60
自己資本比率	(%)	7.91	8.91	13.54	31.62	37.30
自己資本利益率	(%)	10.24	14.50	68.15	34.82	32.78
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	106,606	544,165	808,563	1,345,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	▲179,893	▲836,777	▲1,328,849	▲1,389,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	–	147,142	313,955	868,783	▲15,102
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	–	748,311	773,093	1,118,034	1,058,574
従業員数	(人)	78	92	115	141	159

ご清聴ありがとうございました。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
経営管理本部 IR担当
0120-772-322
fgir@fibergate.co.jp